

茨木高校野球部

OB会報

発行

大阪府立茨木高校

野球部OB会

主将の言葉

主将 石田 睦

現在、部員は三年生九人、二年生五人、一年生九人、女子マネージャー七人の総勢三十人で毎日の練習に精を出しています。心配していた新人部員の加入も、例年よりやや少ないものの、九人を数え、上級生にもよい刺激となっています。

昨年度は、OBの先輩方の暖かい御支援を承り、夏の大会ではチーム一丸となって、四回戦進出を果たしました。今年は何としても昨年を上回る成績をあげることが目指しています。

また、今年の春より、公式試合用のユニホームを新調して頂き、選手全員新たな気分で試合に臨んでいます。

最後の大会を迎える三年生は勿論、部員全員が、日頃熱心に御指導下さる先輩方、或は陰で応援して下さいる先輩方の熱い期待を胸に毎日の練習に励み、大会での勝利を目標に元氣いっぱい頑張っています。

御多忙中、恐縮ではありますが、グラウンドに来て御指導して頂ければ、部員一同、大変うれしく思います。

御挨拶

顧問 太田捷昭 先生



日毎に暑さが増し、いよいよ野球シーズン到来となりましたが、皆さまにはお変わりなくお過ごしのことと存じます。私が茨高野球部の顧問になってから四年目になります。OB会の方々には人的、物的援助は勿論のこと、精神的にも大きな支えとなっていた、き有難く感謝致しております。

また、今年はユニホームを新調していた、き現役の生徒は大変喜んでおります。先輩達の恩に報いるためにも、試合の実績を残さなければなりません。しかし、現状は、部員数が少なく、思うようなチーム編成ができておりません。――入部する生徒の数が多い年もあるのですが、途中で退部する

監督より

監督 吉岡隆之



昨年の夏の大会を励みとして、部員たちは大会で強いチームに勝つことを目標とし、日々頑張っており、OB会の皆様方には益々ご清栄のことと存じます。

今年のチームは、昨年の夏の大会を経験した主戦の畑野、主将の石田、副将の

昭和62年度OB会会計報告

茨木高校野球部OB会 会長 神戸 鐵 夫
会計 池 永 徹

昭和62年 1月1日～12月31日

	収 入	支 出	残 高
前年度繰越金	321,610		
三和銀行	321,610		
現金	63,000		
会 費	305,000		
寄付金および利息	109,471		
OB会名簿製作費		117,500	
事務用品費(印刷代および通信費)		98,970	
現役運動用具補助		86,490	
現役大会前激励会費		31,500	
雑費(久敬会館使用料等)		12,850	
合 計	799,081	347,310	451,771
次年度繰越金 451,771			
内訳			
三和銀行	418,481		
現金	33,290		

監査の結果正確であり、上記の通り相違ないことを認めます。

昭和63年 1月10日

茨木高校野球部OB会 会計監査 藤 本 明

昭和63年度OB会予算案

昭和63年 1月1日～12月31日

	収 入	支 出	残 高
前年度繰越金	451,771		
会費 3,000×80 1,000×40	280,000		
寄付金および利息	70,000		
大会用ユニホーム購入費		250,000	
現役運動用具補助		120,000	
事務用品費(印刷代および通信費)		100,000	
現役大会前激励会費		30,000	
次年度繰越金		301,771	
合 計	801,771	801,771	0

(注) 今年は5年に1度の大会用ユニホーム20着を購入する年にあたる